認定特定非営利活動法人 日本雲南聯誼協会
【東京本部】〒162-0846 東京都新宿区市谷左内町 21-13 1 階
Tel：03-5206-5260　Fax：03-5206-5261
Email：yunnan@jyfa.org　URL：http://www.jyfa.org/
【昆明代表処】中国雲南省昆明市人民東路 289 号集大広場 2011 室
Tel.+86-871-63311468　Fax.+86-871-63320658
http://www.facebook.com/NPO.JYFA　@jyfa
ブログ 雲南の郵便屋さん 検索
編集・発行人　初鹿野 惠蘭
印刷協力　昭和情報プロセス㈱　㈱技術評論社／デザイン Hope Company

Japan Yunnan Friendship Association
彩雲の南
第78号
会報
発行日　2021 年（令和 3 年）11 月 15 日

「25の小さな夢基金」第16期生191名入学

貧困地域に住む少数民族女子の進学支援プロジェクト

彼女たちの切実な願いを支え、未来を実現

教育は社会を変える

経済発展が著しい中国。しかし雲南の貧困と言われる地域には、学校に行きたくても行けない少数民族の女の子たちがまだたくさんいます。「女の子は早く結婚して、子どもを産むもの」「女子に教育は必要ない」という古い考えにより、勉強を続けることが困難な地域が残されています。しかしそんな彼女たちの未来を変えるには、教育による高等学校への進学が不可欠であり、貧困や社会の旧弊から抜け出すことができる唯一の道なのです。

191 名の女子高生が未来を変えるために省都・昆明の高校へ

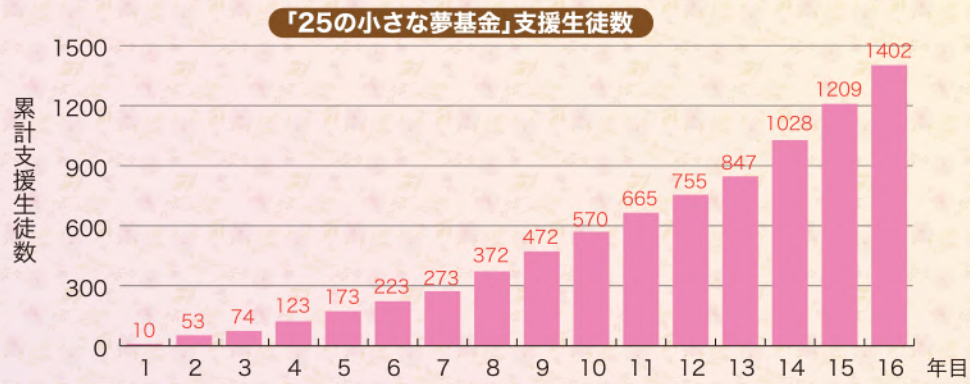
厳しい選抜を勝ち抜き「高校入学」という切符を手にした女子生徒 191 名が、昆明市女子中学（日本の高等学校に相当）に入学しました。親元を離れ全寮制の生活で 3 年間、彼女たちは大学進学を目指して一日13時間の勉強に明け暮れます。この彼女たちにとって里親サポーターの支援は、経済的な負担を軽減できるだけではなく、大きな精神的な支えにもなります。特に里親サポーターからの励ましの手紙は、辛い高校生活を後押しする力になります。

彼女たちの喜びが自分の喜び

これまでに参加いただいた里親サポーターは約 300 名に上ります。春蕾生たちは「学ぶ喜び」を感じつつ、自らの努力と里親サポーターの支援で夢に向かって進みます。同時に里親サポーターも「支援する喜び」を感じることができます。「人を助けることで自分も幸せになる」「支援生徒からの手紙に元気をもらえる」こんな声をたくさんの里親サポーターからいただきます。当プロジェクトは単なる経済支援ではなく、手紙のやりとりや現地での交流など心が通う支援を実現しています。

昆明市女子中学‥‥1908年設立、雲南省で女子教育のさきがけとなった学校です。日本の国立中学に当たり、中学（初中班）と高校（高中班）があります。中学は義務教育で男女共学です。高校は、政府の規定により経済的困難を抱える少数民族女子のみの「春蕾班」で構成されます。

「25の小さな夢基金」‥‥雲南省の少数民族の少女たちを支援するプロジェクト。彼女たちは昆明市女子中学で寮生活を送っています。里親サポーターの皆さんには資金援助だけではなく、手紙のやりとりなども行っていただきます。



「25の小さな夢基金」第16期 新入生の皆さん

連載

「25の小さな夢基金」卒業生の今

何維改さん

2013年入学　第8期生　チワン族

何維改さん（右）大学卒業式にて

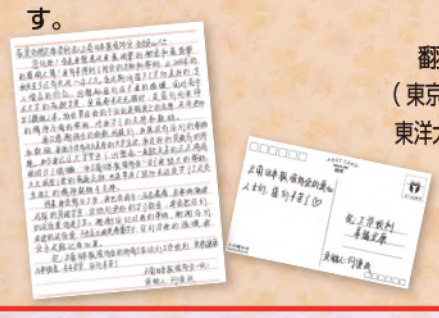
Vol.11　皆さまからの愛を引き継いでまいります。

親愛なる特定非営利活動法人
雲南日本聯誼協会の皆さま

こんにちは！まず、皆さんに心から感謝の気持ちを申し上げたいと思います。幸いにも2013年秋から8年間にわたって協会からご支援いただき、たくさんの素敵な忘れられない思い出が残りました。皆さま方からいただいた温もりを思い返しますと、高校と大学の学費について我が家がどうしようもなかった時、救いの手を差し伸べてくださいました。協会は物質的な支援だけでなく、精神的な支援、学習面での励ましも与えてくれました。

協会のおじ様、おば様方に改めて感謝申し上げます。皆さまのご支援と励ましがなければ、こんな素敵な大学生活と素晴らしい教育環境には恵まれませんでした。大学を卒業しこれまでの生活を思い出すと、たちまち涙が溢れそうになります。日本雲南聯誼協会は我が家の家計の負担ぐっと軽くし、学習面だけではなく、暮らしの上で心の支えと励ましをくださいました。

今後は仕事に打ち込み、ボランティアとなって私のような貧しい学生を助けたいです。彼らに学習のチャンスを与え、皆さま方からの愛を引き継ぎます。自分が春蕾生であったことは決して忘れません。皆さんにいただいた温もりは永遠に胸に刻みこみます。日本雲南聯誼協会の職員の皆さまのお仕事が順調で、ご健康とご多幸であるようお祈りいたします。



翻訳：熊 寛さん
（東京本部インターン生
東洋大学社会学部1年）

税額控除プロジェクト

学ぶ喜びを少数民族の女の子たちへ「25の小さな夢基金」新入生191名 里親サポーター募集

心で支える1対1の支援

春蕾第16期生191名が今年9月、昆明市女子中学に入学しました。春蕾生たちは未来への扉を開くため、3年間の厳しい生活を始めます。彼女たちの高校3年間を支えていただく里親サポーターを募集します。

――里親サポーターと生徒の交流――

- 手紙を通じて、支援生徒と交流できます。
- 協会主催「ふれあいの旅」では、現地で直接生徒と交流します。
- 年数回、生徒へのプレゼントを届けます（任意）

「25の小さな夢基金」の詳細はホームページへ

協会公式HP jyfa.org → 協会プロジェクト → 「25の小さな夢基金」プロジェクト

※「25の小さな夢基金」への支援は税額控除の対象になります。
詳細は協会公式HPの「25の小さな夢基金」のページをご覧ください。

連載

こんにちはCSR

ー協会を支えてくださる協力企業からのメッセージー

第28回◉金龍山 信松院

概要■
1590年（天正18年）に信松尼（松姫）が心源院より八王子御所水（現・八王子市台町）の草庵に移転し創建された曹洞宗の寺院。武田信玄公の四女である松姫ゆかりのお寺としてまた八王子七福神の一つとして有名。

所在地：〒193-0931
東京都八王子市台町3-18-28
TEL：042-622-6978（代）
HP https://shinshouin.or.jp

武田信玄公の娘である松姫さまが開いたお寺、信松院。今回、ご住職の西村和裕さんにお話を伺いました。四季折々を感じられるよう丁寧に手入れされた庭の奥に、400年間八王子を見守り、地域の発展に貢献してきたお寺がどっしりと構えています。

日本雲南聯誼協会との出会いは、西村住職が知り合いの住職とインドを訪れた時だそうです。インドの住職を訪問した際、偶然、協会の米濵顧問と出会って協会の存在を知り、活動に参加していただきました。

現在は「25の小さな夢基金」プロジェクトで、雲南省の少数民族の女子生徒（春蕾生）をご支援いただいています。春蕾生たちの前向きな姿勢や一生懸命勉強する様子を、手紙を通して見守っています。西村住職は「彼女たちが学びのチャンスを無駄にしないよう応援できるのは嬉しく、ありがたいことです」と優しくほほえまれました。

御本堂

西村和裕ご住職

地元の人々とのつながりはもとより、国際的なつながりも大切にするため、今後は多くの人を結ぶ場としてのお寺のイベントなども積極的に開きたいそうです。不思議なご縁を結ぶご住職がいる信松院は、これからも人々の癒しであり続けるでしょう。

よく手入れされた庭園が広がる信松院

※CSR=Corporate Social Responsibility（企業の社会的責任）：利益を追求するだけでなく、組織活動が社会へ与える影響に責任をもつこと

20年の支援

矢野裕美子

協会設立当初ボランティアスタッフ
ご夫妻とも応援して頂きました。
この場をお借りしてお礼を申し上げます。

20 周年おめでとうございます。22 年前の惠蘭との出会いがつい最近のことのように思われます。皆様にとっては理事長ですが私にとってはいつまでも友達の惠蘭なのです。知り合った当初から雲南と日本の懸け橋となって活動したいといつも熱く語っていました。

一年余りで協会を立ち上げた時は本当にやり遂げたなあと、心から感心しました。彼女はとても大きな刺激を与えてくれる、それまでに出会ったことのない友人です。しっかり将来を見据えて行動する力、周囲の中傷にも負けない一途な信念、直球で投げてくる真心は今でも全く変わりはありません。しばらく会っていませんが・・・

特に夢や目的の無い私が、友が心から望んでいたこの協会設立に微力ながら携われた事は、良い思い出であり、小さな誇りです。当初は『無給でごめんなさい』と言わていましたが、今思えば何も知らない私が、たくさんの経験をさせてもらえたことは自分の財産だと思えます。

▶協会支援第2校吉能小学校建設視察

▶チベットの踊りで大歓迎

支援小学校の交流視察で行った雲南旅行ではチベット族の暮らしを垣間見、手厚い歓迎を受け、皆で踊り喜び合いました。嬉しそうな顔の子どもたちがこの小学校で学びそれぞれの将来の夢に向かっていけるようにと願ったことは忘れられません。

世界中に教育を満足に受けられない、食事もままならず医療も受けられない多くの
いる事を普段忘れかけているような気がします。メディアが取り上げそれを目にした時だ
けその人々の事を少しだけ考えます。自粛生活が続いた去年から思うところがあり、別の支援に協力し始めてます。

他国や他人を排除せずに興味を持ち、知ろうとすることは大切なことです。考えるきっかけをくれた惠蘭と協会活動には本当に感謝しかありません。
皆さんの善意でできた協会がこれからもずっと続いていくことを願います。

矢野裕美子

日本語で未来をひらく　昆明女子中学から初めての日本留学へ

昆明の桜日本語学院で
日本留学を目指して勉強中

「25の小さな夢基金」春蕾卒業生

高玉聰さん

皆さん、こんにちは。今年 6 月、昆明市女子中学を卒業した春蕾卒業生の高玉聡と申します。雲南省文山チワン族ミャオ族自治州丘北県の出身で、唐辛子と漢方の「三七」の生産が盛んで、夏には蓮の花が香ります。

実家は四方を山に囲まれた辺鄙な村にあり、村の多くの子どもたちは学校に行く機会がなく、特に女の子は、私の 4 人の姉も学校に行ったことがありません。私は幸運にも学校に通えました。でも学校まで遠く、小中学校の時は毎日夜中 2 時に起きてお弁当を作り、弟と妹を連れ 10 キロの道のりを歩いて学校に通いました。

物質的には豊かではありませんでしたが、勉強を続ける夢を諦めたことはありません。幸い、私は昆明市女子中学の高等部に推薦され、春蕾生になれました。春蕾クラスではたくさんの優秀な同級生に出逢い、また日本雲南聯誼協会の「25 の小さな夢基金」で支援金をいただくことができました。在学中はクラス長になり、雲南省各地から来た春蕾生たちと共に楽しい生活を送り、毎日、新たな収穫がありました。

▲ 左・高玉聡さん

今年、私は高校を卒業し、現在は協会の支援を受け、昆明市の桜日本語学院で日本語を勉強しています。日本語は漢字が多く、親しみを感じます。文法、助詞、敬語等は勉強してみるととても難しいです。特にリスニングはたくさんの練習が必要です。桜日本語学院の先生の多くは日本留学経験があり、ここで勉強している学生もみんな日本へ留学したがっているので、このような雰囲気が私にとって日本語を勉強する原動力となります。

日本語授業中の高玉聡さん
先生はやさしく教えてくれます

私は日本語をしっかり勉強して日本に留学し、介護の勉強をして介護福祉士の資格を取って日本の介護施設で働こうと思っています。

私は、協会のこれまでのご支援と日本留学の機会を与えてくださることに心より感謝しています。これからもっと勉強して日本留学の夢を叶え、中日両国の介護業界で役に立つ人材になれればと思います。

高玉聡
（「25 の小さな夢基金」第 13 期生、ミャオ族）

挨　拶

蘇 鑫 首席代表

昆明代表処首席代表挨拶

皆様、こんにちは。日本雲南聯誼協会昆明代表事務所の首席代表に本年6月、就任いたしました蘇 鑫（ソ シン）と申します。雲南支部は昨年、中国政府の新たな規定により、海外NGO日本雲南聯誼協会の「昆明代表事務所」として正式に登記しました。私は雲南省紅河ハニ族イ族自治州の出身で、来日して13年が経ちました。日本の大学を卒業し、日本企業への就職を経て、四年前からボランティアとして協会の活動に携わってきました。

中国の高度経済成長に伴い、雲南省もあらゆる面で目覚ましい変貌を遂げてきましたが、経済や教育の地域格差の問題には依然として改善すべき余地があります。

今後は東京本部と手を携え、雲南省の貧困生徒、とりわけ少数民族の女子生徒を中心に、多様性や国際的視野を持つ人材を育成していきたいと思います。また、協会が過去20年間で築いてきた日中友好の絆を、様々な活動を通じて受け継いでいきます。

会員及び関係者の皆様、今後とも末永くご支援、ご協力宜しくお願いします。

昆明代表処首席代表　蘇 鑫

イベント報告

国内最大級の国際協力の祭典 グローバルフェスタJapan2021 オンライン参加

昨年、新型コロナウィルスの影響で中止された国際協力イベント「グローバルフェスタ JAPAN」が 10 月 9 日（土）10 日（日）の 2 日間、リアル会場とオンライン会場で同時開催されました。「多様性あふれる社会～思い描く未来を語ろう」をテーマに、国際協力や社会貢献に取り組む 100 以上の NPO、教育機関等が参加。協会は公式 HP 内に特設コーナーを作り、オンライン参加しました。

2 日間の来場者数はリアル会場とオンライン会場で計 10,357 人（主催者発表）、オンライン会場だけでは 6,764 人でした。協会 HP の特設コーナーは引き続き開設中ですので、ご興味のある方はご覧ください。

https://jyfa.org/global_festa/

イベント情報

「25の小さな夢基金」津島高校オンライン交流会

日時：11月12日（水）より毎月（予定）
場所：昆明市女子中学、愛知県立津島高等学校、日本雲南聯誼協会東京本部
春蕾生と津島高校の2-3年生がオンラインで国際交流を行います。

第16回「雲南省少数民族教育支援」チャリティーゴルフコンペ

日時：11月17日（水）
場所：津久井湖ゴルフ倶楽部
神奈川県相模原市

多摩大学経営情報学部 初鹿野理事長講演会

日時：11月24日（水）
場所：多摩大学経営情報学部（東京都多摩市）

協会イベントに関するお問合わせ

東京本部事務局
TEL.03-5206-5260（平日10～18時）
✉ yunnan@jyfa.org

ご寄付のお礼

協会設立20周年記念誌『輝きを増すその先へ』ご寄付心より感謝申しあげます

協会設立20周年記念誌『輝きを増すその先へ』へたくさんの寄付を頂戴し、改めて心より深く感謝申し上げます。7月末までにご寄付いただきました方々のお名前を前号に掲載させていただきました。それ以降、ご寄付が確認できました皆様を掲載させていただきます。

■ご寄付いただいた方々（受付順、敬称略）
近藤釼一、今吉哲見、加瀬春雄、奥脇弘久、杉浦幸夫、井上雅夫、鳥羽清弘、東郷浩、鈴木肇、大平信夫　2021年10月末まで

ご覧になった方からは「編集に携わった皆さんのご苦労がうかがえます」「懐かしい写真がたくさん載っていて、また雲南に行きたくなりました」「巻末の活動年表を見ると協会活動のすばらしさがわかりますね」と温かい言葉をいただいております。多くの皆様に協会の20年の歩み、協会が紡いできた日中の絆を是非見ていただきたいと思います。ご興味ある方は東京本部へお問い合わせください。

協会ボランティア通信

名古屋支部特集②

連載 第㉒回

楽しく社会貢献
名古屋支部では随時、ボランティアを募集しております。中部地方にお住まいでボランティア活動にご興味のある方・協会活動にご興味のある方・在宅で中日翻訳ボランティアにご協力いただける方はぜひ、お問合せください。

2018 年夏、協会の働きかけで雲南省紅河ハニ族イ族自治州から歌舞団が来日し、東京と名古屋で公演しました。

来日の日程や会場がなかなか決まりませんでしたが、東京公演には本部のスタッフや大宮支部、会報発送などの業務を手伝ってくれるボランティアの皆さんがいるので、初鹿野理事長はさほど心配していなかったようです。名古屋支部は近藤釼一支部長と私しかおらず、果たしてこんな大きなイベントを滞りなく開催できるのかと心配でした。

初鹿野理事長は名古屋の中国総領事館を訪れ、鄧偉総領事に協力を仰ぎました。私は中部日本華僑華人健行登山協会会長、中部日本華僑華人連合会副会長などを務めており、各方面の関係者に声をかけて観客とボランティアを集めました。

そのかいあってか、会場のウィル愛知大ホールには大人から子どもまで 700 名以上が来場し、大変な賑わいでした。中国駐名古屋総領事館の柳嬌領事や名古屋市長室室長（現在は名古屋市教育委員会教育長）の鈴木誠二さんなどたくさんの来賓にも来ていただきました。

急なお願いにも関わらず、司会兼通訳の哈暁琳さんなど三十数名のボランティアに協力してもらえたのはとても心強かったです。当日は全員が中国のイ族、チベット族、ウイグル族などの民族衣装を身につけ、受付や案内、誘導などを担当しました。会場で雲南省少数民族の子どもたちを支援するカンパを呼びかけたところ、30 万円以上集めることもできました。

近藤支部長は、ボランティアの皆さんが献身的に公演を支えてくれたことに感激し、後日ポケットマネーで名古屋駅近くの四川菜園に全員を招き、感謝の宴を催しました。さすが太っ腹の近藤支部長、その節はたいへんご馳走様でした！

董　紅俊（日中青少年交流部長、会員、名古屋支部ボランティア）

イベント情報

イベント中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染症のさらなる拡大を防止するため、協会主催イベントの中止または延期を決定しました。

東京本部
■協会設立 20 周年記念式典（延期）
及びチャリティー忘年会

大宮支部
■新年会（中止）
■春節パーティー（中止）

各イベントを楽しみにされていた会員・ご協力者・関係者の皆様には大変、申し訳ございませんが、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

『彩雲の南』へのご意見 ご提案をお待ちしています

皆さんにもっと楽しんでいただける『彩雲の南』をつくっていきたいと思いますので、ご意見・ご提案をお願いいたします。

特にデザインやレイアウトに対するご意見や各コーナーのご提案をいただけますと幸いです。お気軽にお寄せください。

〒162-0846 東京都新宿区市谷左内町21-13 1階
認定NPO法人日本雲南聯誼協会
東京本部事務局
✉ yunnan@jyfa.org
までお送り下さい

会員募集＆会費納入のお願い

ひろげよう支援の輪 新規会員募集中

1か月500円からできる教育支援
雲南少数民族の子どもたちに豊かな未来を!
協会を応援してくださる会員を募集します

日本雲南聯誼協会は2000年の設立以来、雲南省の少数民族児童への教育支援を行っています。協力していただける個人、企業、団体の会員を随時募集しています。

正会員	一口　6,000円（500円/月）
賛助会員	一口12,000円（1,000円/月）
法人会員	一口18,000円（1,500円/月）

※法人会員は3口以上でお願いします

※正会員と法人会員には総会での議決権があります。
賛助会員に議決権はありませんが、賛助会費は寄付金控除の対象となります。
※4月1日から3月31日までを1年度とします。
※年度途中でご入会の場合、初年度の会費は入会月から年度末(3月)まで月割で計算します。

会員には会員証を発行し、会報『彩雲の南』、メール通信をお送りいたします。

▼お申し込みは…
http://www.jyfa.org

認定NPO法人日本雲南聯誼協会への ご寄付は寄付金控除の対象となります

協会では随時、皆様からのご寄付を受け付けています。

ご寄付は雲南少数民族への教育支援、協会運営のために大切に使わせていただきます。当協会は東京都より認定を受けた「認定NPO法人」です。認定NPO法人への寄付は税制優遇（寄付控除）が受けられます。

❶銀行振込
三菱 UFJ 銀行 目黒駅前支店 普通 1300380
特定非営利活動法人 日本雲南聯誼協会
（ﾄｸﾃｲﾋｴｲﾘｶﾂﾄﾞｳﾎｳｼﾞﾝﾆｯﾎﾟﾝｳﾝﾅﾝﾚﾝｷﾞｷｮｳｶｲ）

❷郵便振替
振替口座　00100-8-610935
加入者名　特定非営利活動法人 日本雲南聯誼協会
※ 振込手数料はご負担いただきますようお願いします。

中国語読み解きクイズ

解る様で解らない難しさが有る中国語。さて日本語ではどんな意味でしょう？

答えは協会ホームページで発表しています。www.jyfa.org

編集後記

コロナ禍がようやく鎮静化し、世の中が日常を取り戻そうとしています。コロナ禍で私たちの暮らしも大きく変わりました。リモートワークが増える一方、外食の回数は激減しました。協会の恒例行事である春蕾生の卒業式への出席もオンラインでした。今感じるのは、人は人と直接会って話をし、触れあうことで、お互いを理解し、思いやりを深めていたのだということです。次の波が来る前に、しばらく会えなかった友人と食事に行ければと思います。（編集長・木本一彰）